株式会社 平和メンテ・エンジニアリング

健康意識をさらに高めるために、家族ぐるみの健康づくりを提案・促進

◆ 健康経営に取り組み始めたきっかけとは?

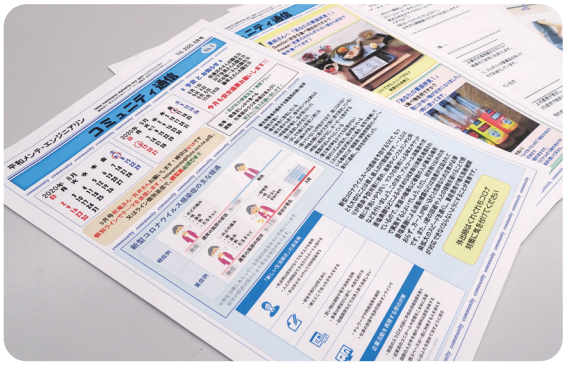
同社は焼却施設を勤務場所とし、溶鉱炉の運転・維持管理を24時間行っています。責任ある仕事を途切れなく遂行し続けるには、健康が絶対条件です。そのため創業時から従業員の健康管理には気を配り、多くの取り組みを行ってきました。毎朝の日課は健康チェックとラジオ体操。健康チェックでは「顔色は良いか」「睡眠時間は十分か」「朝食は摂ったか」といった9項目を聞き取り、血圧や体温も記録します。また特定健診受診率も100%という数値を長く維持しています。

◆ 取り組みの内容とは?

2016年に当宣言の存在を知り、さらに従業員の健康意識を高めたいと始めたのが「健康新聞」の発行です。月に一度、協会けんぽから発信されるメールマガジンの内容をプリントして、会社からのお知らせや各自のオフショットなどを収めた「コミュニティ通信」と併せて発行します。この「健康新聞」の最大の特徴は、従業員の自宅に送付していること。送付用の封筒に「ご家族で読んでください」と印字して、奥様をはじめご家族にも健康情報を届けて、家族ぐるみで健康づくりに取り組んでもらおうと意図されています。メールマガジンには季節の健康情報のほかに「おすすめ健康レシピ」が掲載されているため、奥様から「作ってみました!」と報告が届くこともしばしばです。また「コミュニティ通信」が社内コミュニケーション促進にひと役買っており、加えて会社を挙げたワークシェアリングの効果もあって、従業員同士が仕事を周りと調整し合い、それぞれ自由に有給休暇を取れる雰囲気が作られています。

健康チェック

ラジオ体操



コミュニティ通信

事業主・担当者からのメッセージ

リーダー　飯星俊祐様

当社は創業当初から健康経営に取り組んできましたが、「健康づくり団体・事業所宣言」と出会って、さらに専門家からのアドバイスも受けられるようになりました。特に印象深かったのは栄養士による講演イベントで、予め社内で募った「コンビニ食で健康的な食べ合わせ」をテーマにした講演は、みんな非常に興味深く聞いていたようです。普段でも、検診で数値が良くなかった従業員を個別に指摘してもらったり、従業員が業務の一環として生活改善セミナーを受講するようになったりと、一層取り組みが進んでいる実感があります。これからも従業員の健康を第一に考え、「健康経営」のイメージが世間に知れ渡るような会社を目指したいと考えています。

企業DATA

名　　称：株式会社 平和メンテ・エンジニアリング
事 業 主 名：代表取締役 鎌田卓
業　　種：ごみ処理施設運転維持管理
所 在 地：筑紫野市俗明院43番地
連 絡 先：TEL.092-922-4033
設　　立：平成19年12月
従 業 員 数：20名